Information お知らせ

農業用廃プラスチック・廃農薬は、適正に処理しましょう

ＪＡでは、農家のみなさまから委任を受けて、農業用廃棄物を適正に処理する取り組みをしております。

当日は、委任状に印鑑が必要です。必ず印鑑をご持参ください。また、処理料金をＪＡの口座振替で支払う場合は、通帳とお届け印鑑をご持参ください。

廃棄物を運搬する際は、車両へ「産業廃棄物運搬車」の表示と積載廃物の量・運搬先などを記入し書面を車両の左右へ張り付けてください。表示する書類などは、回収場所に用意しておりますので、ご利用ください。

回収日程

令和8年12月10日(木)・11日(金)
9時30分～15時00分

回収場所	対象地区
安芸津アグリセンター 東広島市安芸津町風早647-8 TEL（0846）46-1017	安芸津町
安 浦 店 呉市安浦町内海北2丁目4-3 TEL（0823）84-2049	安 浦 町
川 尻 店 呉市川尻町西1丁目1-43 TEL（0823）87-2931	川 尻 町

回収する廃棄物の種類および料金（税込み）

回収品目	内　容	処理費用（税込）
廃プラスチック類	ハウスビニール・マルチ・肥料袋・アゼ波板・育苗箱	50円/kg
一般農薬	乳剤・水和剤・粉剤・粒剤	350円/kg
農薬の容器	ポリ・ガラス瓶・紙袋	350円/kg
	金属缶・エアゾール缶（ガス抜き処理済み物）	500円/kg
特殊農薬	農薬で水銀・ヒ素等を含む特殊な品目 名称・種類等が不明の農薬	500円/kg

●特殊農薬として扱う品目

水銀を含む品目	水銀粉剤 セレサン粉剤　土壌消毒剤 ソイルシン、シントール、シミルトン 種子消毒剤 ウスプルン、ルベロン　その他 水銀を含むもの
ヒ素を含む品目	シンモルキル粉剤、ネオアソジン粉剤、カスモン粉剤、カスモスミバール粉剤 その他 ヒ素を含むもの
チウラムを含む品目	チウラム水和剤、チウラム粉剤　忌避剤 キヒゲンセット、アンレス 種子消毒剤 ベンレートＴ水和剤、ヘルシードフロアブル　その他 チウラムを含むもの
クロルピクリンを含むもの	クロルピクリン錠剤、クロルピクリン80、ドジョウピクリン、ドロクロル、クロルピクリン、CTテープ、サイロン（臭化メチル混合剤）　その他 クロルピクリンを含む農薬
パラチオン（ホリドール）など	シマジン粒剤・シマジン水和剤

注意事項

回収場所へ処理品目を持込む際に必ず次の事項をお守りください。

❶農業用の品目に限ります。（生活、家庭用の廃プラスチックは、対象外）
❷農薬名の不明なものは、処理費用500円/kgいただきます。（特殊農薬扱い）
❸回収物は、品目毎に梱包し名札を添付してください。
❹回収物は、右の梱包方法を守り、名札を付けてください。

肥料袋



一梱包10kgまでで結束してください！

アゼ波板



一梱包10kgまでで結束してください！

ビニールフィルム・マルチ等



一梱包15kgまでで結束してください！

農薬・空き容器関係



中身の見える袋で農薬（一般・特殊それぞれに）は乳剤・水和剤・粉剤・粒剤に、空容器はポリ・ガラス瓶・紙袋・金属缶に区分してください！

お問い合わせ先

ＪＡひろしま芸南地域営農経済センター
（安芸津地区）
営農経済課 TEL（0846）45-3360
（安浦・川尻地区）
安　浦　店 TEL（0823）84-2049

なるほどえ～のう！営農情報

水稲 11月

土づくりをする時期となります

冬場の土づくりは稲の生育に大きく影響するので、有機物の補給、土壌改良剤の施用を行い耕起しておきましょう。

①有機物（10ａ当り）次のいずれかを1ｔ施用しましょう。
・牛ふん堆肥　・豊穣2号
・こだわり健肥

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。
・病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める〝ケイ酸〟を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる〝鉄分〟を含む資材を施用してください。

資材の使用例（※10ａ当り施用量）

ケイカル　200kg（10袋）
ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち病・ごま葉枯れ予防に。

ミネラルG　200kg（10袋）
ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材。

ミネリッチ　100kg（5袋）
ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に。

土楽園　60kg（3袋）
高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ。

ようりん（粒）　20kg（1袋）
リン酸は健全な生育と分けつや子実の充実を進めます。ゆっくり長く効くリン酸肥料で、苦土やケイ酸も含んでいます。

水稲 問 安浦店
℡ 0823-84-2049
担当　桑原 伸明

野菜 11月

馬鈴しょ

馬鈴しょの病害虫防除と収穫貯蔵の管理

生育後半となりますが、近年は温暖化で病害虫の発生が多いです。また、今作は雨が多かったため、全般に注意が必要です。特に収穫前はガの防除を徹底しましょう。

●病害虫防除例

【アブラムシ・疫病防除】
・テルスター水和剤　1，000倍液（収穫3日前まで、使用回数4回以内）
・フォリオゴールド　1，000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）
前記2剤を散布します。

●収穫前の防除例

【アオムシ・ヨトウムシ・ジャガイモガ】
・ベネビアOD　2，000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

【アブラムシ・疫病防除】
・オリオン水和剤（劇）1，000倍液（収穫前日まで、使用回数5回以内）
・ベトファイター顆粒水和剤　2，000倍液（収穫7日前まで、使用回数4回以内）
前記2剤を散布します。

※収穫は、ためし掘りをして晴天日に掘り取りをしましょう。貯蔵については充分風乾して収納しましょう。

タマネギ

タマネギの定植準備について

●土壌改良剤の施用例（1ａ当り）
・堆肥（200kg）、ようりん（6kg）、を定植1カ月前には施用して耕起をしましょう。苦土石灰（粒）等の石灰資材（12kg）は同時に施用出来ますが、可能なら約2週間前に施用しましょう。

●元肥の施用例（1ａ当り）
・固形35号（8kg）を基肥として定植1週間～10日前までに施用します。また、タマネギならこれで1発！JAの肥料（10kg）を基肥にすると追肥は不要です（多雨の年は追肥が要る場合があります）。

●定植前の病害虫と雑草予防例（1ａ当り）
・定植前・害虫予防としてダイアジノン粒剤5を3００～6００g土壌混和します。
・定植後・雑草発生予防にはトレファノサイド粒剤2・5を4００～5００g土壌表面に散布します（散布後に土壌を耕すと効果が失われるので、畝立て後に散布します）。

●畝立て・定植
・畝幅135㎝の平畝、株間10㎝の4条植えを基準とします。
・1ａ当り苗の目安本数は2，000～3，000本となります。
・植え付けは2～3㎝の深さで成長点を埋めないように定植をしましょう。

ハクサイ・キャベツ・ブロッコリー

病害虫防除について
・日中も十分に温度が下がらない時は害虫の発生が続きます。

害虫防除（例）…ハスモンヨトウ・コナガ・アオムシ
・プレバソンフロアブル2，000倍液（収穫前日まで、使用回数3回以内）
・グレーシア乳剤2，000倍液（収穫7日前まで、使用回数2回以内）

のいずれかを散布してください。
また、湿度が高く、低温になると病害の発生にも注意が必要です。

白色疫病・べと病予防（例）
・プロポーズ顆粒水和剤1，000倍液（収穫21日前まで、使用回数2回以内）
・アミスター20フロアブル2，000倍液（収穫前日まで、使用回数3回以内）

のいずれかを散布してください。

〈生産工程管理日誌は必ず提出しましょう！〉

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用できるほか、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜 問 営農経済課
TEL 0846-45-3360
担当 久保 勝義

果樹 12月

柑橘

普通温州みかんの採収時期となります。果実の状態をしっかりと見極め、浮皮・クラッキング（果梗部のひび割れで、特にいしじに多い）等の発生に注意して採収しましょう。

1．中生・普通温州みかんの採収は、浮皮に注意!!

《成りの多い樹・園地》

2回に分けて採収しましょう。8分着色以上の外成り果を先に採収し、次に残果を一括採収しましょう。採収後は、8分着色以上・7分着色以下・加工原料の3区分に仕分けましょう。

《成りの少ない樹・園地》

12月中旬までに採収し、採収後は8分着色以上・7分着色以下・加工原料の3区分に仕分けましょう。

2．採収後の予措は充分に!!

8分着色以上の果実は、ムシロ・シートを掛け軽く発汗させた後（2～3日）に覆いをのけてから十分に風を通し、果実をにぎって音のしない程度まで予措を行いましょう。7分着色以下の果実は着色が進むまで待ち、予措を行いましょう。

特にコンテナ貯蔵の場合は、1コンテナ当りの入量を6～7分目程度に抑え、下1段は空コンテナを置き、横側面は風が通るように隙間を開けて積みましょう。

3．収穫後の樹勢回復対策を忘れずに!!

尿素200倍液＋カルビタP770倍液を温度の高い日・高い時間帯を狙い、散布しましょう。

4．冬マシンの散布!!

カイガラムシ類、サビダニの防除として、12月下旬～1月上旬までに、機械油乳剤95（30倍液）を散布しましょう。

5．晩柑類の袋かけと防寒対策

越冬採収する清見・不知火は、外成り果に袋掛けを行い、樹全体をサニーセブンや寒冷紗で被覆しましょう。

ただし、寒波情報が発動された場合は、速やかに採収を行いましょう。なお、防寒資材は温度がマイナスになったら被害を防げません。

6．中晩柑類の採収と予措の徹底を!!

はるみ…12月下旬に9分着色以上の果実を採収し、1月上旬に残果を採収後、軽い予措を行い貯蔵する。

八朔…12月下旬～1月上旬に採収し、乾燥に注意し貯蔵する。

不知火…1月中旬～下旬に採収し、充分予措を行い貯蔵する。

甘夏…1月下旬～2月上旬に採収し、充分予措を行い貯蔵する。

清見…3月上旬に採収し、乾燥に注意して貯蔵する。

びわ

1．摘房・摘蕾の実施（全体的に花が多いので、摘房を実施しましょう！）

着花（果）過多による樹勢衰弱防止と結実促進・大果生産を行うには、摘房→摘蕾→摘果という一連の作業を袋掛け時期（4月）までに実施する必要があります。摘房・摘蕾は同時進行で実施しますが、枝数の6割程度の充実の良い果房を残します（目安：2枝につき1花房残す程度）。

摘蕾は、残した花房の下3段の花こうを残して上部を除く。その中から大きくて充実しているもの2段を残し、1段は取り除くようにしましょう。

2．果実腐敗病（芯ぐされ）・灰斑病防除

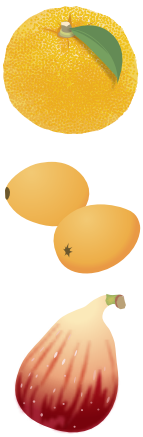
12月中旬～下旬（開花時期）に、トップジンM水和剤1，000倍液の散布を実施しましょう。

いちじく

剪定を行う時期となります（剪定時期の目安：落葉後～2月末まで）。

農薬使用の注意点

・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示板などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
・作物の残留農薬が問題となっていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。ただし、農薬ごとに作物名が似ているなど、間違いやすいものがありますので厳重に注意し使用しましょう。



果樹 問 安芸津アグリセンター
TEL 0846-45-0488
担当 JA広島果実連㈱
駐在技術員 鎌田 悠誠

11月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者を対象として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産･供給を行っています。
数に限りがありますので、お早目にお問い合わせいただきぜひご利用ください。



128穴セルトレイ苗（イメージ）

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	春波・YR春空・初恋など	11月下旬～	4月中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応いたします。

あなたとわたしのふれあい市

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

JA ふれあい市安芸津店



東広島市安芸津町風早647番地８

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。

11月のおすすめ

すき焼き、おでん、キムチ鍋、ちゃんこ鍋、寄せ鍋など。
鍋には色んな種類があってどれも美味しいですよね!
ふれあい市では、鍋に欠かせない食材をそろえて皆さまのお越しをお待ちしております♪

ふれあい市安芸津店　営業時間変更のお知らせ

令和8年11月1日(日)より変更となりました。

【変更前】9:00～18:00　【変更後】9:00～17:00

ご不便をおかけしますが、引続きご愛顧くださいますようよろしくお願いいたします。

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い合せください。

0846-46-1166
ふれあい市安芸津店　担当：松本まで

Information お知らせ

地区別組合員集会 開催のお知らせ

組合員の皆さまの意見をJA運営に反映させるため、地区別組合員集会を次の日程で開催します。ただし、席に限りがありますので、ご参加いただける方は事前にご連絡をお願いいたします。

集会の内容

1. JA運営や事業・活動の実施方針について
2. 支店情勢・取り組み状況について
3. JAへの意見・ご要望について

日程	対象支店	日時	会場	出席者の連絡先
	安芸津支店	12月10日(木) 14時～	安芸津支店 3階大会議室	0846-45-1243
	安浦支店			0823-84-2040
	川尻支店			0823-87-2046

※ご参加の方は、最寄りの支店に12月3日(木)までにご連絡をお願いします。